

救主の御降誕と 新春のお慶びを 申し上げます

仙台の大主教及び東京の副主教
セラフィム



仙台正教会
教会だより

2021年
1月号

時と歳とを己の権内に置き給ひし萬物の造成主よ、
爾の恩澤を以て年に冠らせ、生神女の祈祷に因りて、
我が国と爾の城邑とを平安に守りて、我等を救ひ給
へ。
——新年の讃詞——

「時と歳とを己の権内に置き給ひし」神の救いのご計画において、「時」が満ちて神子が肉体を藉られたことを忘れてはなるまい。降誕祭の祈祷文に「天と地は合わせられたり」とあるが、これは神の無限の時間に人の有限な時間が合わせられたということでもある。神子の藉身、そして死と復活により、人に永遠の生命に至る扉が開かれた。

我等の救いのため槽に臥されたイイスス・ハリストスのご降誕の喜びが、今、全世界を覆っているコロナ禍という暗闇の中にあっても光明の輝きとなり、皆様に霊的な癒し、堅固なる健勝と豊かなる憐れみが与えられますようお祈りいたします。



聖金ロイオアンは「あなたも博士たちが礼物を捧げたようにしなさい。しかし、もっと慎ましい礼物でよい。彼等は黄金を捧げたが、あなたは善行とよき思慮を捧げなさい。彼等は乳香を捧げたが、あなたは聖なる祈りと霊的な芳香を捧げなさい。彼等は没薬を捧げたが、あなたは謙卑、謙遜な心と慈善を捧げなさい」と教える。

大主教セラフィム

仙台ハリストス正教会
〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四十二
TEL 022-251-2740
FAX 022-241-3080
<http://www.sendai-orthodox.jp>
orthodox@hyper.ocn.ne.jp

年始にあたつて

長司祭 ダヴィド水口優明



「ノアの六百一歳の一月一日になつて、地の上の水はかれた。ノアが箱舟のおおいを取り除いて見ると、土のおもてはかわいていた。」(創世記8章13節)

元日、それは創世記によれば、ノアの大洪水の終わりと、新しい時代の始まりの日付です。ノアにとって、古い年は過ぎ去り、新しい年が始まったのです。

古きが過ぎ、新しきが訪れ、年が暮れ、年が明け、春が来て、夏・秋、そしてまた冬がきます。時間はやむことのない繰り返しで続きます。箱舟から出たノアが、まず最初に神様に献祭をし、礼拝した時、神様は言いました、

「地のある限り、種まきの時も、刈り入れの時も、暑さも寒さも、夏も冬も昼も夜も、やむことはないであろう」。

年のめぐり、季節の循環は、神様のこの時の約束の上に成り立っており、ノアの献祭のおかげで、今年も新年を迎えられた、と言つても過言ではありません。

私たちも、神様に献祭することが大切なのではないでしょうか。新年祈禱の中では、「救世主よ、爾の民は、歳の首を爾に奉りて、天使らの歌をもつて爾を讃栄す」と祈ります。ノアが新しい年を迎えたように、私たちも、新年を迎え、献祭として「歳の首」を捧げて、神様の祝福の言葉をいただくのです。

ノアの洪水が起きた時、世の中は大きく乱れていました。今も、そうかもしれません。しかし、年の始めにあたつて、ノアと共に、平安の光を望み見て、感謝の心を献じたいと思います。教会という名の箱舟の中で、見えない洪水を乗り越切る一年にしたいものです。

新年のご挨拶

執事長 アキラ 笹川 皓



救主のご聖誕と新春のお慶びを申し上げます。昨年中は初頭からコロナ禍の波が押し寄せ第三波まで到達しています。

教会では様々な工夫をして感染防止に努力して、気を付けながら、執事会・婦人会・聖歌隊・方舟会が一致協力して聖

体礼儀を守つてまいりました。参拝が大切なこと、そして皆様との出会いが大切なことを昨年程感じたことがありません。今年もなにとぞご援助・ご奉仕・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

コロナ対策について大主教座下と水口神父様のご教導をいただきました。今後とも配慮しながらコロナ禍に負けないように、皆様とともに信仰生活を続けていきたいものです。残念ながら祝賀会(懇親会)・バザー等は今後の終息状態を見ながら考えていこうと思います。

昭和四十七年に成聖された会館はここ数年いろいろ経年劣化・故障・取替・追加工事等が続けながらなんとか使用しております。新会館の建設も考えなければならぬ時期ではありますが、現在の財政状態が向上しなければ、そう簡単に実行できません。数年後には計画を進めなければと考えております。

昨年から予想も出来なかった状況がまだ続くと思いますが、一日も早い終息を切に願ひ、皆様のご健康を祈念して、新年のご挨拶に代えさせていただきます。





▲ ダニイル府主教座下、ガルーン大使と

セラフイム大主教座下は11月24日(火)、ダニイル府主教座下と共にロシア大使館を訪問された。
ガルーン大使からのご招待によるもので、9月に開催された記念行事を顧み、今後の日ロ両教会の交流事業について意見を交わさ

セラフイム大主教座下のご動静

れた。

また、12月20日(日)の主日聖体礼儀をご司祷された後、22日(火)には主教会議。さらに降誕祭もニコライ堂でご司祷され、仙台に戻られた。



▲ ニコライ堂での降誕祭

主の降誕祭

仙台正教会では、新暦に従って12月24日と25日に主の降誕祭の徹夜祷および聖体礼儀が行われた。セラフイム大主教座下が上京されたため、水口神父一人での奉神礼となった。例年は、一般の方々にも大いに参祷を呼びかけ、祈祷後には、暖かい飲み物などをふるまっていたが、今年は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、信徒のみの参祷という制限を設け、ふるまいも中止した。それでも約30人の参拝者で降誕祭徹夜祷を祈ることができた。





クリスマスツリー飾りつけ

11月29日(日)、婦人会が中心となって、クリスマスツリーの飾りつけが行われました。



教会共同墓地の植木剪定

みやぎ霊園にある仙台正教会の共同墓地の植木が伸びていましたが、11月1日(日)、アキラ笹川執事長、ニコライ山田執事、ステファン高橋兄が、きれいに剪定してくださいました。

ご奉仕に感謝



会館の外階段の修繕

仙台正教会の信徒会館にある外階段の一部が腐食していましたが、11月25日(木)に、中新田正教会のペトル若松兄が、外れてしまっていた階段の踏み板を数か所、溶接して修繕してくださりました。



クリスマス・イルミネーション

11月29日(日)、方舟会が中心となって、境内のもみの木にクリスマス・イルミネーションの取り付けが行われました。

蛍光灯安定器の調査完了
信徒会館にある蛍光灯安定器に有毒のPCBが使用されているか否の問題で、高所にある三階と四階のベランダの蛍光灯だけが未調査でしたが、11月29日(日)に方舟会の手を借りて確認しました。これですべての蛍光灯にはPCBは不使用と言う結果となり、台市への報告が完了しました。



降誕祭前の清掃

12月20日(日)に、降誕祭前の聖堂掃除(床に落ちた蠟取りなど)と燭台などのおみがきを行いました。総勢約20人の信徒がご奉仕下さいました。



中新田正教会だより



12月13日(日)、中新田正教会では、代式祈祷の後で、クリスマスリース作りを行いました。今年はコロナ禍の影響で降誕祭祝賀会を中止しましたが、リース作りでクリスマスを祝う気持ちを盛り上げました。

お詫びと訂正

先号の「教会だより」5ページの本の出版のお知らせの中で、下段冒頭の「正教新報に掲載されたシメオン三井神父」の中の「正教新報」は誤りで、正しくは「正教時報」でした。ここに深くお詫びし、訂正させていただきます。

新刊本案内

天と地の間～天国への道標～

東日本主教教区宗務局 発行

アトス山修道士テオクリストス・ディオニシアトス師 著
長司祭イオアン長屋房夫 師 翻訳

東日本主教教区では宣教ブックレットの第7弾として「天と地の間」を発売した。これはアトス修道院の修道士テオクリストス・ディオニシアトス師によって正教修道の高い霊性が著された書で、三十年前、ロシア正教会の長司祭イオアン長屋房夫神父により翻訳され、出版されていたものの再版。この良書は福音を聞いている信徒の信仰生活を導くもの、霊的な杖となるであろう。ぜひお求めを。



頒布献金 一冊 1300円



東京正教神学院 ～神学生募集～



東京正教神学院は聖職者を養成するための教育訓練機関です。現在、神学生を募集しています。来年度の出願期限は2021年3月10日です。詳しくは管轄司祭まで。

募集 神品教役者養成 短期プログラム受講者



Tokyo Orthodox Theological School
東京正教神学院

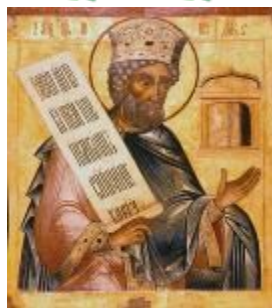
出願期限: 2021年3月10日
※ 100-1000円、受講料は別途要
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
東京正教神学院教務課
TEL: 03-5291-1885 Email: otd@tdg.com

神品教役者養成
短期プログラム

これは、教団の神品教役者として服事する意志と希望を有する男性信徒に二年間四回にわたって集中講義を行い、将来的に祝福又は叙聖する機会を与えるものです。出願期限は2021年1月20日です。詳しくは管轄司祭まで。

1月聖名日 モレーベンのご案内 1月10日(日) 聖体礼儀後

聖名日モレーベンは毎月第一日曜日に行っていますが、暦の関係で、1月は第二日曜日に行います。



▲聖王ダヴィド



▲聖致命女タチアナ

	聖 名	氏 名 (敬称略)
1/1	ボニファティ (タルスの聖致命者)	鈴木勇司
1/4	アナスタシヤ (聖致命女解繫者)	山田三穂子、増子陽子
1/9	聖使徒聖致命者首輔祭ステファン	土田 仁、板橋勝一郎、後藤邦彦 今野芳明、高橋嘉彦
1/12	アニシヤ (ソルンの聖致命女)	横山夏実
1/10	聖王ダヴィド【旧暦降誕祭後の主日】	水口優明神父、木村史之、若松亮一、 小堀一成
1/13	メラニヤ (ロマの克肖女)	熊谷順子
1/14	聖大ワシリイ	加藤國枝神父、伊藤亮介、大場 貴 鈴木孝治
1/15	セラフィム (サロフの克肖者)	セラフィム大主教座下
1/15	ユリアニヤ (ラザレフスク)	鈴木一子
1/20	前驅授洗イオアン	大立目謙朗、佐々木一志、山田義樹 清水 格
1/21	カルテリイ (神品致命者)	横山一平
1/25	タチアナ (ロマの聖致命女)	飯塚順子、遠藤好恵、菅原加奈 恩田貴子、寺嶋タチアナ
1/27	ニーナ (グルジャの教化者聖使徒聖女)	遠藤真理子、岡崎菜美、葛西いづみ 勝又冨、木村仁美、今野未来、松原ミエ 鈴木えみ子、玉置真智子、太田さつ子

東日本主教々区宣教献金のお願い

標記献金のご協力についてはすでにお手元にご案内が届いていると思いますが、教区の諸活動を支える大切な宣教献金に皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

■献金目標額：200万円

■献金額：1口 3,000円

■献金方法：郵便振替 02200-2-30428

東日本主教々区宗務局

■期 間：2021年5月31日まで

神現祭・大聖水式

2021年1月17日(日)

今年は神現祭を二日ずらして1月17日(日)にお祝いします。神現祭の聖体礼儀に引き続き「大聖水式」を行います。各自、専用の聖水入れ(容器)をご持参の上、ご参拝ください。



執事会報告

令和二年12月13日(日)

13時〜14時20分 3階会議室

一、報告事項

・白河で特別講話開催。 11/3

・聖歌隊総会。 11/8

・教会車プリウス冬タイヤ交換。 11/16

・会館外階段の破損を、中新田正教会の

・ペトル若松兄が修繕。 11/25

・聖堂脇の外付けコンセントの修復。

・二階事務所のA3プリンター故障のため

・新品購入。

・クリスマスツリーと電飾取付け。 11/29

・正教時報広告は例年どおり。

・教区分担金百万円納入。

二、協議事項

(1) コロナ対策について

第三波がおさまっていないことを受けて、現状の対策を維持する。

(2) 献金について

定額献金、その他の献金の納入減が予測されるため、2月号か3月号の会報に献金のお願いと振替用紙を同封する。

三、その他

●来月の日程

・ 1/1(金) 新年聖体礼儀

・ 1/10(日) 成人式・聖名日モレーベン

・ 白河正教会巡回

・ 1/13(火) 定例執事会

・ 1/14(木) 割礼祭・聖ワシリイ祭

・ 1/15(金) 聖セラフィム祭

・ 1/17(日) 主の洗礼祭、大聖水式、月

・ 例パニヒダ

・ 1/24(日) ミニ講話、婦人会・方舟会

・ 1/31(日) 清掃奉仕の日

・ 中新田正教会巡回

献金報告 (2.1.18〜2.12.25)

○聖堂献金 二万九千三百二十五円

○降誕祭献金

五万円 木村郁代

一万円 横山毅、古田直子、佐藤瑠都子、山

田喜美雄、四津光子、土田定克、東

海林としえ、入野武彦、札野千絵、

木村憲治、渡辺静江

遠藤正義、横山栄子、加藤進、熊谷

憲一、熊谷天津子、高橋清太、佐藤

幾久子、佐藤由枝、笹川純子、山寺

しちよ、山田弘子、山本理恵子、山

野辺隆二、児玉繁子、秋保明、勝又

禮子、水口敦子、千葉温、早坂盤

増子陽子、村井正之、太田ちえ子、

大立目謙直、但木國子、町田真佐

三千円

子、八文字惣一、平塚喜美子、平塚

裕・郁子、本多弘明、鈴木三千代、

飯田基子、山中由美、木村富喜子

伊藤光子、永元亜紀子、恩田修、高

橋かつ子、高橋ゆり、高橋紀武、高

橋哲郎、佐々木隆、笹川久美、山田

恵津子、山田廣志、若松亮一、西海

枝康子、平塚清、遊佐なみ子、伊藤

治男、横山美貴子、及川聡子

伊藤秋恵、遠藤守、葛西弘子、権藤

順子、昆守、佐藤周治、鈴木和夫、

○感謝献金

五万円 木村富喜子

一万円 鐸木道剛、熊谷経光、木村憲治

三千円 山田喜美雄(聖名祭)

二千円 高橋文彦(聖名祭)

一千円 木村洋

○会報献金 五万円 山田正教会、川股峰輝、日形正教会

三千円 横山美貴子

○パニヒダ献金

五万円 永元道子、勝又禮子、本多弘子

三千円 葛西弘子、笹川皓

二千円 佐治美智子

一千円 岡崎雄俊、古田直子、高橋紀武、

※敬称略



1月行事・奉事予定

12月31日(木)	新年の奉事徹夜祷 (17時)
1日(金)	新年の感謝祈禱 (0時)
	新年の奉事聖体礼儀 (10時)
	書札 テイモフエイ前 2:11・7
	福音 ルカ 4:16・22
	新年の感謝祈禱 (祈祷後)
2日(土)	主日徹夜祷 第5調 (17時)
3日(日)	第30主日聖体礼儀 (10時)
	書札 コロサイ 3:4・11
	福音 ルカ 17:12・19
	【第29主日分の読み】
9日(土)	主日徹夜祷 第6調 (17時)
10日(日)	神現祭前の主日聖体礼儀 (10時)
	書札 テイモフエイ後 4:5・8
	福音 マルコ 1:1・8
	▼聖名日・新成人モレーベン
10日(日)	中新田正教会・代式祈禱 (10時)
9日(土)	水口神父白河正教会出張
9日(土) 18時	降誕祭徹夜祷
10日(日) 10時	主の降誕祭聖体礼儀

13日(水)	定例執事会 (14時30分)
13日(水)	祭日徹夜祷 祭日調 (17時)
14日(木)	主の割礼祭・聖大ワシリイ祭
	聖体礼儀「聖大ワシリイ」(9時)
	書札 コロサイ 2:8・12
	福音 ルカ 2:20・21、40・52
14日(木)	祭日徹夜祷 祭日調 (17時)
15日(金)	サロフの聖セラフィム祭
	聖体礼儀 (9時)
	書札 ガラティヤ 5:22・6:2
	福音 ルカ 6:17・23
16日(土)	祭日徹夜祷 祭日調 (17時)
17日(日)	主の洗礼祭聖体礼儀 (10時)
	書札 テイト 2:11・14 3:4・7
	福音 マトフエイ 3:13・17
	☆大聖水式 ※聖水入れをご持参下さい。
	■月例パニヒダ
23日(土)	主日徹夜祷 第8調 (17時)
24日(日)	神現祭後の主日聖体礼儀 (10時)
	書札 エフエス 4:7・13
	福音 マトフエイ 4:12・17
	◎ミニ講話／婦人会・方舟会
	●聖堂清掃奉仕の日
30日(土)	主日徹夜祷 第1調 (17時)

1月の集会は以下のように予定いたします。

【婦人会・方舟会】→24日

【ミニ講話・聖堂清掃奉仕】→24日

【聖歌隊練習】→お休みします

【教会学校】→お休みします

【伝道会】6(水)、20(水)、27(水)、(13(水)はお休み)

祈禱は予定どおり行われます。コロナ禍の未だ治まらない中、状況を見ながら十分お気をつけてご参拝下さい。

降誕祭後の廻家祈禱は、新型コロナウイルスの感染拡大防止策として残念ながら今年は中止いたします。ご了承ください。



※降誕祭や神現祭、また大斎に向けて暦の調整もあり、1月の主日福音は変則的に読まれます。

31日(日)	第34主日聖体礼儀 (10時)
	書札 コロサイ 3:12・16
	福音 ルカ 18:18・27
	【第30主日分の読み】
30日(土)	17時 前晩祷
31日(日)	10時 主日聖体礼儀
	大聖水式・月例パニヒダ
30日(土)	31日水口神父中新田正教会出張